

ライオンズクラブが  
小中学校に学用品を寄贈



枕崎ライオンズクラブ（坂口茂会長）から市内小中学校へ学用品の寄贈があり、5月31日に市教育委員会で見録の贈呈式が行われました。  
今回は、教育活動に役立ててほしいとのことから、印刷機器やビデオカメラなど各学校で必要な物品を寄贈していただきました。

水道週間に合わせ  
清掃作業と保守点検を実施



6月1日から7日までの期間で実施された水道週間に、より安全で良質な水道水を安定して供給するため、水道工事業協会と水道課が3日に深浦水源地と金山浄水場取水口付近の清掃作業を、6日に各集落墓地の給水施設の点検を行いました。

ぶえん鯉スタンプラリーに  
1345件の応募



「枕崎ぶえん鯉スタンプラリー」の抽選会が6月19日、水産センターで行われました。6回目となる今回は、「枕崎鯉船人めし」人気もあり、昨年の応募件数(759件)を大きく上回る、1345件の応募がありました。北海道から沖縄まで全国各地の人たちがスタンプラリーに参加していました。

ウミガメ上陸海岸の  
清掃活動を実施



ウミガメの本格的な上陸シーズンを前に、ウミガメの上陸・産卵場でもある長浜海岸周辺(東白沢)の清掃作業が5月25日に行われました。  
ウミガメや環境保護を広く理解してもらいたいと、今回初めて地元住民やボランティアへの呼びかけを行ったところ約50人が参加し、ウミガメが上陸するために障害となるゴミや流木などが取り除かれました。昨年、市全体では89頭のウミガメが上陸し、53回の産卵が確認されており、今年も5月7日に初上陸が確認されています。

「つぶやきワークショップ」を開催  
～自分づくり講座



6月10日と21日に、中央大学法学部の広岡守穂教授を講師に迎え、NPO法人子育てふれあいグループ自然花などで、自分づくり講座が開催されました。  
今回は「つぶやき」から自身の日頃の気持ちを再認識し、参加者同士の意識を共有することで男女共同参画の重要性を考えることを目的に行われました。  
参加者は、男女という性に関して日々の暮らしの中で感じていることや辛さを「つぶやき」として言葉に出し、それを基に広岡教授が「つぶやきソング」を作成しました。参加者の楠元大輔さんは「将来家庭を持つようになった時には、家族を大事にし、助け合える家庭にしたいと思いました」と話していました。

公民館	氏名	公民館	氏名	公民館	氏名
山手町	永留和廣	小園	上園秀一郎	俵積田	西之原拓二
東本町	井上美由紀	宇都	田中京子	山崎	山崎昌子
宮前町	鮫島敦子	桜馬場	茅野正己	中原	二宮京子
日之出町	岩下修一	桜山住宅	上釜藍子	瀬戸	茅野かおり
木原	堂山和美	松下	中村真喜子	茅野	茅野哲子
岩戸	宮路真友美	下園	上原久志	小塚	真茅弘美
折口町	萩原耕一	瀬戸口	下窪卓郎	松崎	松崎涼子
西本町	原村洋	中村	岩下貢	下山	下山優
港町	吉松幸夫	宝寿庵	立石光智	駒水	駒水信一
恵比須町	上釜十三男	五堀	瀬戸口種代	真茅	真茅真美
中町	松崎伸男	籠原	竹山なるみ	牧園	酒瀬川清春
旭町	小原士朗	上竹中	山崎忠浩	大塚	桑原誠
泉町	藤元文子	道野	大園栄一	大堀	遠藤誠
新町	若松まゆ子	水流	安藤千草子	下野原	是枝りえ
桜木町	吉留謙二	山下	長谷博	田中	田中浩一
高見町	小川義隆	湯穴	鮫島広行	田畑	中敷隆昭
汐見町	中釜潤宮	木場	小村明美	塩屋	園田清子
住吉町	小湊博樹	通山	下園弘幸	火之神	吉永まり子
千代田町	大江武史	岩崎	橋之口寛	春日	山内美佐子
緑町	山口英雄	富岡	永江和弘	田布川	大園昌一
亀沢	長谷慎吾	渦山	豊留都	金山	赤木正勝
平田湯	俵積田栄一	東白沢	白澤真理子	木口屋	宮崎秀明
石ヶ嶺	井上大二郎	西白沢	中村登志子	界守	福元健一
山口	平山義孝	板敷	岩下美弥子		

青少年指導委員が決定

青少年指導委員

青少年の健全育成に熱意と行動力を持つ人材として自治公民館から推薦され、教育委員会の委嘱を受けた平成25年度の青少年指導委員71名が決定しました。  
青少年指導委員は、4～5人のグループで毎日夜間の巡回補導にあたり、青少年への声かけを行うなど、青少年の健全育成に尽力しています。

青少年のインターネット利用に関する5つのポイント

現在、携帯電話等を所有する青少年の多くがインターネットを利用しています。青少年のインターネットの利用のポイントとして、次の5つが挙げられます。

- ①必要な機器を検討する  
インターネット利用には情

報モラルを身に付けることが大切です。

- ②発達段階に応じて利用させる  
初めは保護者と一緒に利用しながら、慣れていきましよう。

- ③有害情報対策を設定する  
携帯電話はフィルタリングを活用しましょう。

- ④家庭のルールを作る  
決めたルールはいつも見える場所に貼りましょう。

- ⑤小さなことでも気軽に相談する  
携帯電話事業者等の相談窓口を、購入時に確認しましょう。

子どもの「心の悩み110番」

学校や家庭のこと、友達や勉強運動のこと、困ったときにはひとりで悩まないで気軽に電話してください。  
TEL 0120-0555-6999  
月々土(祝祭日除く)午前8時30分～午後5時15分  
問合せ 生涯学習課公民館係 TEL 721111(内線410)

36代木村庄之助 最後の裁き

山手町出身で大相撲の行司最高格の36代木村庄之助こと山崎敏廣さんが、5月16日に65歳の誕生日を迎え、夏場所を最後に定年退職を迎えました。

千秋楽の5月26日、本市の市章が入った装束をまと、立神岩の装飾が施された軍配で白鵬と日馬富士との結びの一番を裁き、49年の行司人生に終止符を打ちました。結びの一番が終了すると同時に、枕崎市内では盛大な花火が鳴り響きました。

山崎さんは昭和39年に枕崎中学校を卒業後、井筒部屋に入門、同年5月に式守敏廣として初土俵を踏み、十両格、式守伊之助と昇格。平成23年11月に木村庄之助を襲名しました。

山崎さんは「精神一到」の言葉を胸に精進し続け、昭和39年の初土俵以来、一度も休場することなく土俵に上り続けました。

平成24年の本紙のインタビューで山崎さんは「36代はああいう行司だったと、皆さんの記憶に残るような行司になりたいですね」と話していました。  
故郷を身に纏い、凛とした姿で結びの一番を裁く山崎さんの姿は、枕崎市民の記憶にしっかりと刻まれたのではないのでしょうか。



▲夏場所千秋楽(写真は弟の山崎公広さん提供)